

豊田景気実感調査

Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第18号

発行日 2020.6.5

令和2年5月調査結果 “コロナ自粛の影響顕現！豊田でも9割のモニターが景況悪化を指摘”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	11.4	9.7	11.7	10.8	26.3	26.5	30.8	26.7	13.5	13.1	13.2	13.3
全国	9.5	11.2	5.8	9.5	19.8	14.3	11.5	17.7	10.4	14.8	8.6	11.2
東海	10.9	—	—	10.6	21.1	—	—	18.1	11.7	—	—	12.0

※全国、東海は内閣府4月調査 【天気図の見方】 D I値 ☀️ 大きな晴れ：60点以上 / ☀️ 晴れ：50～60点未満 / ☁️ 曇：40～50点未満 / 🌧️ 雨：40点未満

【調査結果 総括】

〈コロナ対策としての自粛、休業要請のため、豊田でもモニターの景気実感D I値（総合）は、現状・先行き・水準とも半年前に比べ急落し、D I値の水準は概ね1～2割の歴史的な水準まで低下しました。〉

- ✓現状判断D I（総合）は、10.8と前回（41.4）から急落し、2011年10月の調査開始以降最低の歴史的な低水準となりました。家計、企業、雇用の全ての部門で急落しています。ただ、全国（総合9.5）対比では、企業部門（小売業と製造業）を除き優位を維持しました。
- ✓急落要因として、モニターの方からは、「自粛・休業・消費低迷」「受注量激減による生産調整・工場稼働率低下」「派遣社員の契約打ち切り等の相談増」といったコロナに特定された要因を指摘する声が多く寄せられました。反面、従来からの「競争激化による来客数の減少」「採用難に伴う人件費等のコスト上昇」といった声はさすがに減少しました。また「テレワーク導入に伴う環境整備の増加」や「外出自粛による食品需要増」などといったコロナ対策のプラス効果について指摘もあるものの、まだ少数に止まり、全体を下支えするところまでには至りませんでした。
- ✓先行き判断D I（総合）も前回（42.6）に対し急落しましたが、こちらは26.7に止まりました。全国（総合17.7）比では全ての部門で優位でした。豊田地区の厳しい環境下での適応力の強さの裏付けとも見られます。
- ✓それでも、モニターの方からの声としては、特別定額給付金や緊急事態宣言の解除の効果等を期待する声もありましたが、コロナの終息が長引く予想が多い（特別調査）中で、「コロナの第2波・3波に備えている」「自粛ムードが浸透している」「景気復興施策が不透明」、あるいは「消費行動におけるパラダイムシフト」への対応が遅れているといった警戒の声が多く聞かれました。
- ✓水準判断D I（総合）も、13.3（前回42.3）と急落しましたが、なお全国（11.2）比優位を保ちました。
・以上から、豊田の景気実感は、「コロナの影響により多面的に著しく後退している」と総括しております。

【特別調査】

- ①所得見通し・小遣い等は、コロナのマイナスの影響が大きく、消費意欲を減退させる方向に働いています。
- ②「消費行動」へのコロナの影響については、コロナ対策として一部で消費を増加させる動きはあるものの、消費行動全体としては、モニターの実に84.3%の方が消費行動の抑制を図っていると回答されました。消費行動の抑制割合は平均で平常時の40%と見られます。コロナの終息予想では「1～3年未満に終息」が一番多く、長引く予想です。終息後やりたいことでは「旅行」がダントツの1位となりました。

1. 調査期間：令和2年5月7日～27日

2. 調査客体：295名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：247名 / 有効回答率：83.7%

3. 調査項目：
 ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 ・2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

<問い合わせ先>
 豊田商工会議所：伊藤
 0565-32-4595
 豊田信用金庫：高橋
 0565-36-1384

4. D I算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

総括

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

- ・総合：悪化 (曇→雨)
- ・家計：悪化 (曇→雨)
- ・企業：悪化 (曇→雨)
- ・雇用：悪化 (曇→雨)

●全国比

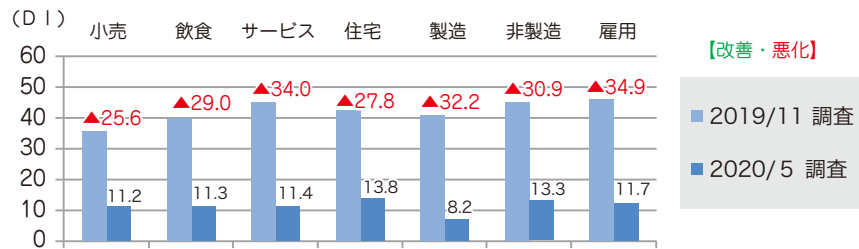
- ・総合：不変 (優位→優位)
- ・家計：不変 (優位→優位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

前
回
比

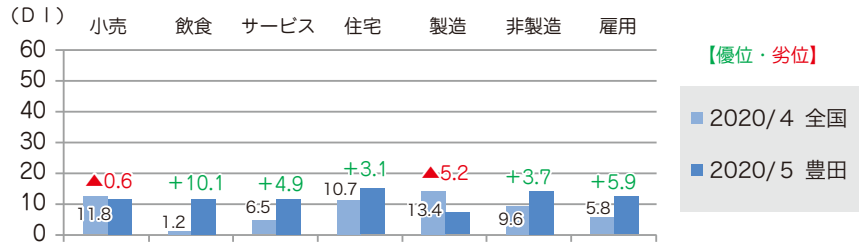
全
国
比

業種別内訳

全ての部門で著しく悪化。コロナ禍を要因とするコメントが大半。



製造の全国比劣位が目立つ。



現状判断

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

- ・総合：悪化 (曇→雨)
- ・家計：悪化 (曇→雨)
- ・企業：悪化 (曇→雨)
- ・雇用：悪化 (曇→雨)

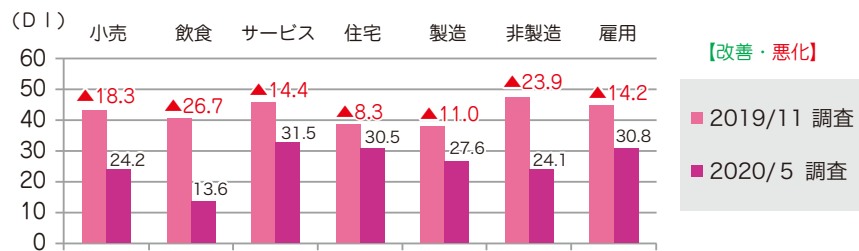
●全国比

- ・総合：良化 (劣位→優位)
- ・家計：良化 (劣位→優位)
- ・企業：良化 (劣位→優位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

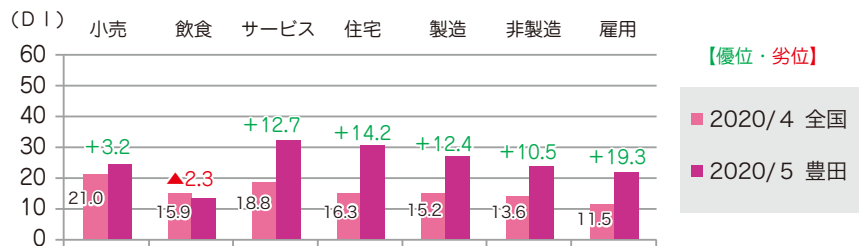
前
回
比

全
国
比

全体的に大きく悪化。特に飲食と非製造の先行き見通しが大きく悪化。



飲食を除き、先行き見通しは大きく全国優位となっている。



先行き判断

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

- ・総合：悪化 (曇→雨)
- ・家計：悪化 (曇→雨)
- ・企業：悪化 (曇→雨)
- ・雇用：悪化 (曇→雨)

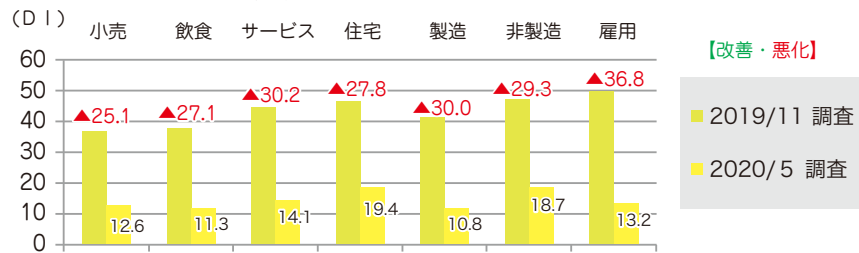
●全国比

- ・総合：不変 (優位→優位)
- ・家計：不変 (優位→優位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

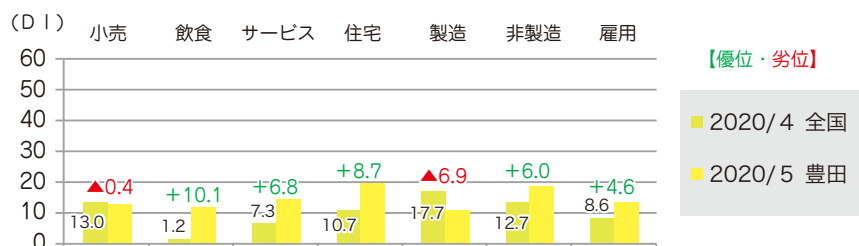
前
回
比

全
国
比

全体的に足元の景況感は著しく悪化。特に雇用の下げが顕著。



小売と製造は劣位となった。全体としては全国優位な足元景況感。



水準判断

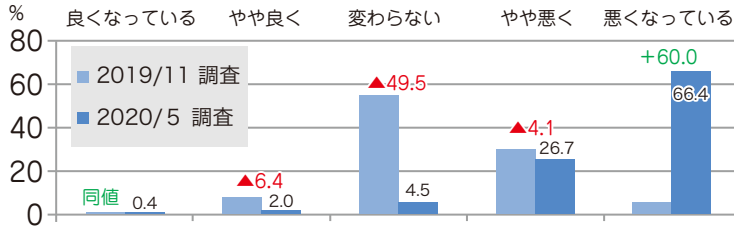
評価段階別内訳

景気モニター一生の声

前回比

急激な悪化、“変わらない”から“悪化”へ回答が丸々シフト。

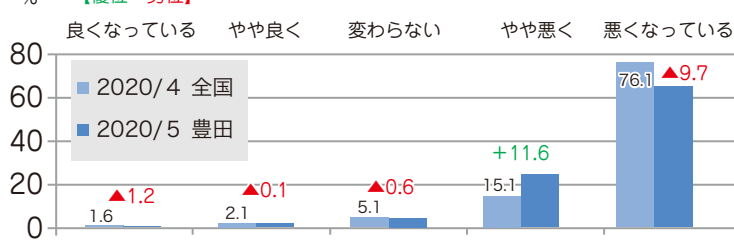
【上昇・下落】



全国比

景況感は悪いながらも、全国比では踏みとどまっている様相。

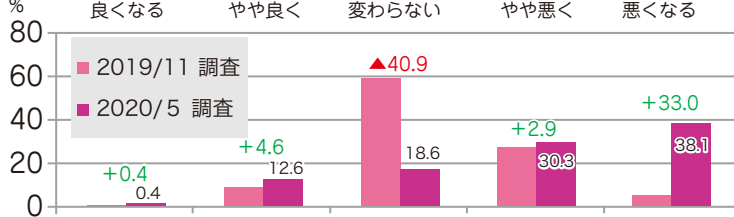
【優位・劣位】



前回比

急激な悪化、“変わらない”から“悪化”へ回答が丸々シフト。

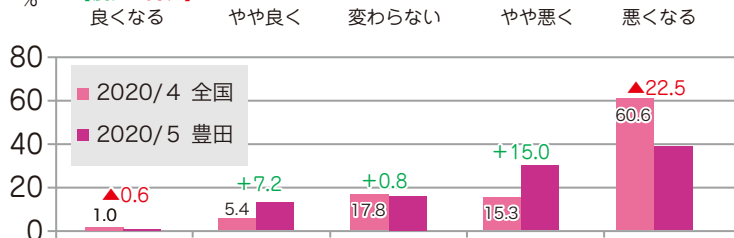
【上昇・下落】



全国比

先行き見通しも全国比では“悪くなる”前で踏みとどまっている。

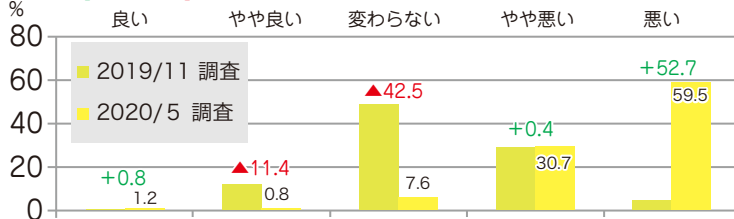
【優位・劣位】



前回比

急激な悪化、“変わらない”から“悪化”へ回答が丸々シフト。

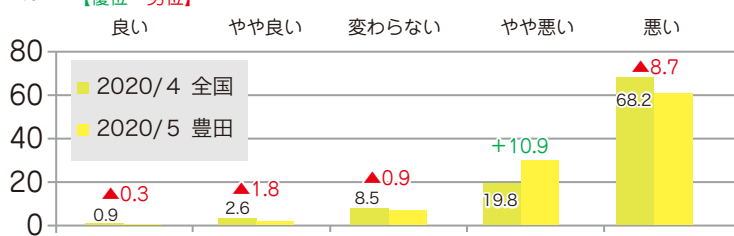
【上昇・下落】



全国比

全国比、評価段階に際立つ差は見られない。

【優位・劣位】



＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

※家計動向＝家、企業動向＝企、雇用関連＝雇、と略

- ＋：例年3月は繁忙で4月、5月は平常に戻るが、今年は3月並の仕事量だった。(家/非製造・通信業従業員)
- ＋：ステイホーム傾向と学校の休校が食品需要の追い風となっている。(家/スーパー店長・店員)
- ＋：テレワーク導入の相談、リモートワークの環境整備の問い合わせが激増した。(家/小売・家電量販店経営者・店員)
- －：コロナの影響で大幅に受注量が減少し、生産調整のため社員を休業させている。(企/製造・電気機械器具従業員)
- －：商店のチラシの受注がなくなり、大変厳しい。(企/出版・印刷・関連産業従業員)
- －：販売量の低下に伴い、生産量も低下し、工場の稼働率も大きく低下している。(企/製造・輸送用機械器具製造業従業員)
- －：新型コロナウイルスに係る企業の休業等助成金の相談が急増しており、派遣社員の契約打ち切り等の相談も増えている。(雇/職業安定所職員)

＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

※家計動向＝家、企業動向＝企、雇用関連＝雇、と略

- ＋：根拠は乏しい希望的観測だが、今が究極に悪いことから、今よりは回復してくれていると思いたい。(家/サービス・都市型ホテル・旅館経営者)
- ＋：10万円の給付金の効果が現れる。(家/サービス・タクシー運転手)
- ＋：緊急事態宣言解除に伴う来客数の増加を期待する。(企/非製造・司法書士)
- －：自粛ムードが板についてしまった感じを受ける。このマインドからすぐにコロナ前の状態になるとは思えない。(企/製造・食品製造業従業員)
- －：緊急事態宣言から緩和の方向に動きつつも、具体的な景気復興対策や施策の見通しが不透明。(企/製造・輸送用機械器具製造業従業員)
- －：第2波、第3波への不安が解消されなければ人の動きは戻らない。(企/非製造・その他非製造業従業員)
- －：コロナウイルスの感染が心配で仕事にならない。(家/住宅・設計事務所所属)
- －：顧客の消費動向変化(実店舗→ECサイト)が進む予測が立つがECサイト対応について立ち遅れている。(雇/雇用・民間職業紹介機関職員)

自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・各種補助金制度はありがたいが、申請方法や窓口がばらばらで申請にてこずる。有料でもいいので商工会議所で申請の代行などを行っていただきたい。
- ・補助金対象を全職種にしてほしい。厳しいのは指定業種だけではない。不公平さを感じる！
- ・松坂屋閉店後はどうなってしまうのでしょうか？豊田市駅周辺に魅力ある施設がないこと。豊田の街がどんどん衰退して行く様で心配です。
- ・トヨタ自動車の先行き(販売不振)に伴う地元経済、消費、雇用等への影響がどうなるのか、とても心配している。
- ・少なくとも1年くらいはイベントが行えないことから、街の活気が失われないようにイベント予算を地域の中小零細企業や個人事業主を救済できる内容に迅速に活用してください。
- ・コロナ禍の中でも逆に追い風を受けている業種・業態を知りたい。また、業態転換によってピンチをチャンスに変えている事例があれば併せて知りたい。

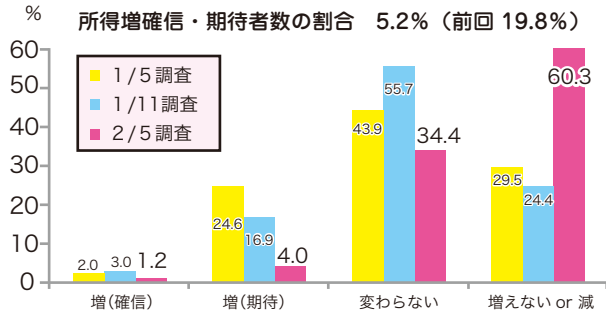
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

所得見通し※・消費意欲の調査

※平成24年から調査を継続しています。

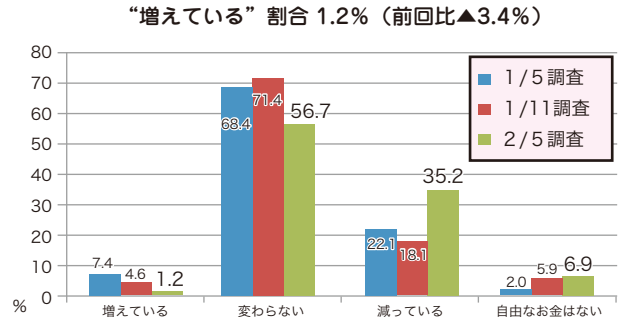
今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増への期待感大きく後退

「増えないあるいは減る」との回答が実に6割を占め、前回比でも36Pも増加しています。一方、「所得増・期待」は12.9P減少しており、総じて所得増への期待感はほぼ失われている様相が見てとれます。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

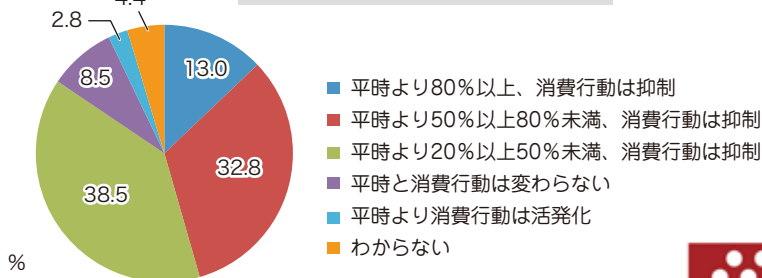


「お小遣い」にもコロナ禍が影響

「減っている」と「自由に使えるお金はない」を合わせ、前回調査比18Pも増加しており、「変わらない」へ集約される従来の動きにネガティブな変化が見られます。消費意欲への停滞が懸念されます。

新型コロナウイルス感染症の「消費行動」への影響調査

コロナの影響による消費行動



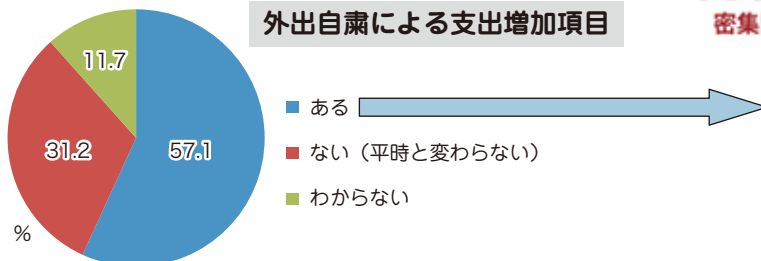
密接回避



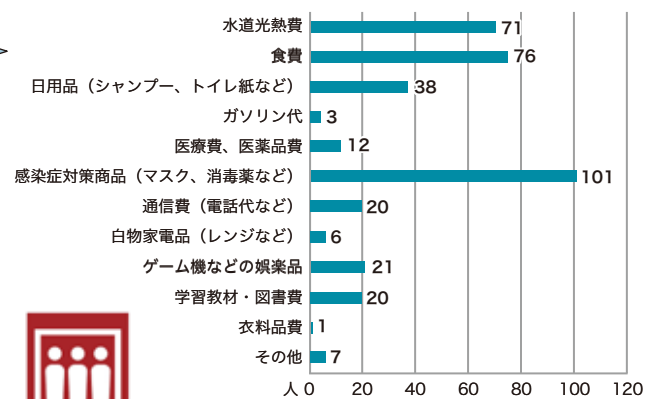
咳エチケット

外出自粛要請等により、84.3%の方が平時に比べ消費行動は抑制されているという結果になりました。このうち最も多かったのが20%から50%未満の38.5%の方です。消費抑制割合は平均で40%となりました。外出自粛に加え、所得が増える見通しが持たず、自由に使えるお金も減っているという回答が増えていることから、コロナが消費マインドに大きなマイナスの影響を及ぼすことが懸念されます。

外出自粛による支出増加項目

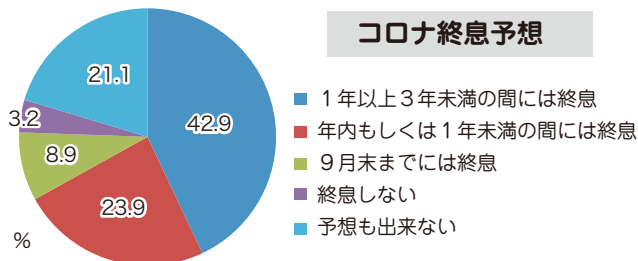


6割弱のモニターの方がコロナ対策支出で増加した項目があったと回答されました。感染症対策商品、水道光熱費、食費が増加した方が多かったようです。その他には学習用タブレット端末や、下宿予定だったお予様が自宅に戻ってきたことによる生活費の全般的な増加、インテリア用品という声もありました。



密集回避

コロナ終息予想

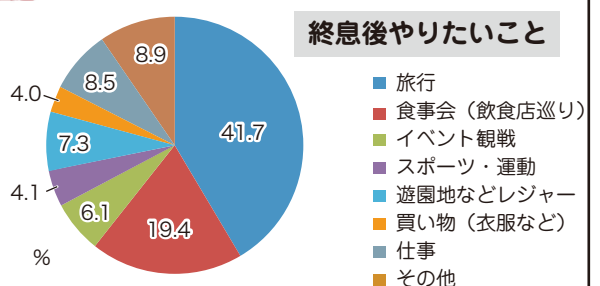


コロナの終息には一定の期間がかかるというモニターの方が多いようです。「1年以上3年未満」という回答が最も多い42.9%となりました。また、「終息しない」「予想もできない」という回答を合わせると全体の約4分の1にもなり、薬やワクチンができるまでは先の見通しが全く立たないという声が多く挙がりました。



換気

終息後やりたいこと



終息後にやりたいことは、旅行が41.7%と群を抜いて多い結果となりました。その他には、家族が集まったのお祝い事、帰省や食事などの回答がいくつか見られ、大切な人を守るために皆様が家族との時間を我慢していることが感じられる結果となりました。